

外国語（英語コミュニケーションⅡ）

履修単位	2単位	学年	3年
学科コース	商業科	区分	必修・選択
使用教科書	Amity English Communication II		
副教材等	フレーズで英単語3000, 英語マスターノート, ACTIVE LESSON, 辞書		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用しながら、次のような能力を育成することを目指す。

- 1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要や要点、詳細を把握することができる。
- 2 必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要や要点、詳細を把握することができる。
- 3 聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合ったり、やり取りを続けたりすることができる。
- 4 聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

「聞くこと・読むこと・話すこと[発表]・話すこと[やり取り]・書くこと」の五つの領域を統合的な言語活動を通して総合的に伸ばしていきます。積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を大切に、英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり、伝えたりする能力を身につけていきましょう。

まずは、授業で学習すること全てを吸収するべく集中して取り組みましょう。特に以下の点を心がけ、日々の学習に取り組んでください。

- 1 教科書・プリントファイル・問題集・辞書等を確実に準備しましょう。
- 2 授業での音読練習やペア、グループ活動に積極的に取り組みましょう。
- 3 ALT来校日を活用し、ALTに話しかけてみましょう。
- 4 休日課題や長期休業中の課題にも粘り強く取り組みましょう。
- 5 全商英語検定・実用英語検定に積極的に挑戦し、それに向けて計画的に学習しましょう。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・それらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	定期考査、パフォーマンステスト、小テスト等	定期考査、パフォーマンステスト、授業態度等	パフォーマンステスト、提出物、授業態度等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1	Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	<ul style="list-style-type: none"> 「～するのを見る」(知覚動詞)などや「～させる」(使役動詞)の言い方に慣れる。 将来の夢について紹介する。 平和について話し合う。 	知覚動詞や使役動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○			
			知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表している。		○		
			知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表しようとしている。			○	
	Lesson 7 Artificial Intelligence	<ul style="list-style-type: none"> 「～のとき」「もし～ならば」(接続詞)などや、「～のために」(前置詞)などの言い方に慣れる。 欲しいと思うAIロボットについて紹介する。 AIロボットと人間の関係について話し合う。 	接続詞や前置詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○			
			接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明している。		○		
			接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明しようとしている。			○	
Lesson 8 The Mystery of Colors	<ul style="list-style-type: none"> 過去からの継続や経験を表現する言い方（現在完了・現在完了進行形）に慣れる。 写真を見て、自分の考えを説明する。 色の持つちからについて話し合う。 	現在完了や現在完了進行形について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○				
		現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明している。		○			
		現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明しようとしている。			○		
2	Lesson 9 Street Performers	<ul style="list-style-type: none"> 「～している…」「～された…」の言い方（分詞の形容詞的用法）、「～するとき」「～なので」の言い方（分詞構文）に慣れる。 好きなミュージシャンまたは好きな曲について紹介する。 夢をかなえるために必要なことについて話し合う。 	分詞の形容詞的用法や分詞構文について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○			
			分詞の形容詞的用法や分詞構文を用いて、好きなミュージシャンや好きな曲について、考えや気持ちを書いて伝えている。		○		
			分詞の形容詞的用法や分詞構文を用いて、好きなミュージシャンや好きな曲について、考えや気持ちを書いて伝えようとしている。			○	
	Lesson 10 The Culture of Selfies	<ul style="list-style-type: none"> 「～する…」などの言い方（関係代名詞の制限用法）、「（ちなみに）～ですが」などの言い方（関係代名詞の非制限用法）に慣れる。 自分の似顔絵を描いて自己紹介をする。 自分を表現する方法について話し合う。 	関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○			
			関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)を用いて、身近な人の似顔絵を描いて、その人について考えや気持ちを紹介している。		○		
			関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)を用いて、身近な人の似顔絵を描いて、その人について考えや気持ちを紹介しようとしている。			○	
Lesson 11 Finland	<ul style="list-style-type: none"> 「～な…（場所・時など）」「～する…（場所・時など）」の言い方（関係副詞）に慣れる。 フィンランドのものについて、その魅力を紹介する。 フィンランドでやってみたいことについて話し合う。 	関係副詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○				
		関係副詞を用いて、フィンランド製のマグカップの魅力について、考えや気持ちを紹介している。		○			
		関係副詞を用いて、フィンランド製のマグカップの魅力について、考えや気持ちを紹介しようとしている。			○		
3	Lesson 12 In Order to Live a Happy Life	<ul style="list-style-type: none"> 「もし～ならば、…だろうに」などの言い方（仮定法）に慣れる。 別の人・生き物になったつもりで、気持ちを表現する。 自分にとっての幸せについて話し合う。 	I wishを用いた文、仮定法過去や仮定法過去完了について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	○			
			I wishを用いた文や仮定法過去、仮定法過去完了を用いて、過去の出来事に反する願望について、考えや気持ちを書いて表現している。		○		
			I wishを用いた文や仮定法過去、仮定法過去完了を用いて、過去の出来事に反する願望について、考えや気持ちを書いて表現しようとしている。			○	